

Corporate Social Responsibility

コニカミノルタグループでは“CSR(企業の社会的責任)活動は経営そのもの”との認識のもと、積極的に様々な諸施策に取り組んでいます。

中国の2つの生産拠点で「ゼロエミッション」を達成

中国におけるMFP・プリンタの2つの生産拠点(無錫工場と石龍工場)が、「排出物の再資源化、埋め立て廃棄物の最少化、再資源化による利益の創出」を目指す「ゼロエミッションレベル1」*を達成いたしました。

コニカミノルタの環境中期計画ではグローバル展開の強化を進めています。この方針のもと、循環型社会への対応として2008年度までにアジア全生産拠点でゼロエミッションレベル1を達成するという目標を掲げて取り組んでいます。

*再資源化率:90%以上、最終処分率:5%以下(2次残渣も含む)、外部支払い費用を上回る有価売却もしくは施策効果。



無錫工場での
式典の様子

タンチョウの保護を続けて20年

特別天然記念物のタンチョウは、生息環境の悪化により、一時は絶滅の危機に瀕していましたが、日本野鳥の会が1987年に「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」を北海道阿寒郡鶴居村に設立して、保護活動を行ってきた結果、現在では1,000羽を超えるまでに増加しました。コニカミノルタでは、サンクチュアリ設立以来、保護活動を支援しています。

今年はサンクチュアリ設立20周年を記念し、「コニカミノルタ・タンチョウチャリティフォトコンテスト」の入選作品から30点を選び写真集を制作いたします。写真集はサンクチュアリに1口1,000円のご寄付をいただいた方にプレゼントいたします。募集は2007年8月からを予定しています。



フォトコンテスト
入賞作品

男女ともに仕事と家庭の両立を支援「次世代育成支援企業」として認定取得

日本では2005年をピークに人口が減少傾向に転じ、少子化がますます深刻な問題となってきました。

コニカミノルタでも、「働く女性だけでなく男性にも仕事と家庭が両立できる環境づくり」を念頭に、両立支援の諸制度を導入し、「次世代育成推進委員会」を設け、これらの制度の定着と今後の計画の推進に取り組んでいます。なかでも、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社とコニカミノルタテクノロジーセンター株式会社は、厚生労働省の子育てサポート企業の認定条件を満たし、次世代認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しました。



次世代認定マーク 愛称「くるみん」